

# 紙ふうせん

KAMIFUSEN No.68

成田市立図書館だより 第68号 2009年（平成21年）12月1日発行

編集 成田市立図書館 〒286-0017 千葉県成田市赤坂1-1-3 ☎ 0476-27-4646

FAX 0476-27-4641

<http://www.library.narita.chiba.jp>



**図書館は25歳になりました。**

おすすめ本POPコンクール（8月25日～9月29日実施）  
たくさんのご応募ありがとうございました！

# 図書館は25歳になりました。

成田市立図書館は、1984（昭和59）年10月27日に開館し、今年で25周年を迎えました。この25年間、多くの皆様にご利用いただき、貸出された本だけでも、のべ25,622,348冊にのぼります。これからも皆様のお役に立つ図書館を目指してまいりますので、どうぞご利用ください。

今年の夏休みには、開館25周年を記念して「『いいほんみつけた』クイズ」と「おすすめ本POPコンクール」を実施いたしました。

「『いいほんみつけた』クイズ」は、図書館の児童担当が作成した夏休み向けブックリストで紹介した本の内容について、クイズを出題しました。ブックリストでは小学1・2年生、3・4年生、5・6年生向けにそれぞれ8～9冊の本を紹介しています。クイズは1冊につき1問で、今回はその中から3問答えられた人が合格でしたが、中にはたくさんの本を読んでくれた方もいて、全問正解してしまう強者も。

「おすすめ本POPコンクール」は、市内の小中学生の皆さんに、自分の好きな本を本屋さんで見かけるPOP（本の紹介札）のようにして紹介していただきました。本のタイトル・著者名・出版社名等を書く以外、特に形式を定めませんでしたので、工夫を凝らした自由で楽しいPOPが集まりました。今回応募していただいた作品を今号の表紙に掲載いたしました。また、優秀作品は市立図書館のホームページでも掲載しています。

ご応募いただきました皆さん、ありがとうございました。

※夏休み向けブックリストは、毎年夏休みの読書の参考にしていただけるよう、小中学生用に作成し、配布しています。



夏休み向けブックリスト（小学生用）



『いいほんみつけた』クイズ  
（8月18日～9月29日実施）



## 2階展示コーナー

### 「開館25周年 -図書館ができるまで-」

4月から図書館2階の展示コーナーでは、図書館が建つ以前の同じ場所に始まり、杭打ちの様子、書棚の搬入など図書館ができるいく様子を写真パネルで紹介しました。また、開館のころ使用したエプロンや貸出袋もあわせて展示しました。

「24時間テレビ」より、  
障がい者サービス用機器寄贈!

# 24HOUR TELEVISION

今年5月、日本テレビの「24時間テレビ」チャリティー委員会より、視覚障がい者サービス用福祉機器の寄贈を受けました。これは、公共図書館の障がい者サービスを支援する目的で昨年より実施されているもので、今年は成田市立図書館がその内の1館に選ばれました。寄贈を受けた機器は下記のとおりです。



拡大読書器（携帯型）センスビューP430

印刷物を自分の好きな大きさに拡大し、画面に映し出して読むことができます。

どなたでも利用できますので、希望する方は2階参考資料室カウンターでお尋ねください。



活字自動読み上げ機 よむべえ

印刷された活字文書を音声で読み上げる機器です。

## 録音図書作製支援機器 ※一般の方はご利用できません



デジタル録音機  
DR-1



DAISY製作・編集用  
パソコン



DAISY再生録音機  
PTR2

デジタル方式のCD型録音図書「DAISY（デイジー）」を作製・再生するための機器です。

デイジー図書は、アナログ方式のカセットテープよりも長時間録音でき、音質も劣化しにくくなっています。また目次機能があり聴きたい箇所から自由に聴くことができ、より使いやすくなっています。

デイジー図書は専用再生機または再生用ソフトを登載したパソコンで聴くことができます。

図書館では、音訳協力者の方々のご協力をいただき、視覚障がい者（活字による読書が困難な方）向けの録音図書の作製を平成元年より行っています。所蔵タイトルは現在450点ほどになります。今回寄贈を受けた機器は、録音図書作製のデジタル化という環境変化に対応するために、大変貴重なものです。今後、障がいのある方の図書館利用へのサービス充実のために活用させていただきます。



## 科学あそび講座

## 「宇宙ってどんなところ？」

～月齢早見盤と月の満ち欠けコマをつくらう～

講師 科学読物研究会 坂口美佳子氏

2009. 7. 23



今年は、イタリアの科学者ガリレオ・ガリレイが初めて天体望遠鏡を使って天体観測をした年から400年がたちます。それを記念して、国際連合、ユネスコ、国際天文学連盟は2009年を『世界天文年2009』と決めました。また、日本では講座の前日（7月22日）に46年ぶりに皆既日食を見る機会にも恵まれました。今年の科学あそび講座もこれにふさわしい、テーマを「宇宙」と決めました。

はじめに、参加した子どもたちに「宇宙はどんなところか」を考えてもらいました。「暗い所」「空気がない所」と次々に意見がでます。その中の「空気がない=真空」について、調べることにしました。プラ

スティックの入れ物から空気を抜いて真空状態を作ったら、温度はどうなるのか、音は伝わるのかななどを予想をたててから実験しました。後半は、自分の生まれた日の月齢を調べる「月齢早見盤」、月の満ち欠けの様子が早送りで見られる「パラパラまんが」や「満ち欠けコマ」を作り、最後に宇宙食をひと口ずつ試食しました。

参加した子どもたちが、日頃見上げることが少なくなった夜空を見て、天文・宇宙に関心を持ち、また宇宙の中の一つの星“地球”について改めて考えるきっかけとなればうれしいですね。



空気を抜いたら温度はどうなる？

## 参考になる本

『月をみよう』 藤井 旭 あかね書房

『太陽系の惑星－宇宙たんけんたい3』 フランクリン・M. ブランリー 小峰書店

『星空ガイド 2009』 誠文堂新光社

『スペースシャトル宇宙へ』 サリー・ライド／スーザン・オーキー 偕成社

『もしも原子がみえたなら』 板倉聖宣 仮説社

この講座は  
「世界天文  
年2009公認  
イベント」  
に認定され  
ました！



## ● 図書館からのお願い ● 視聴覚資料は特に大切に扱きましょう！

市民の皆様の大切な財産である図書館資料の中でも、CD、ビデオ、DVDなどの視聴覚資料は傷つきやすく壊れやすい資料です。特に慎重な取扱いをお願いします。

## 編集後記

約17万冊の蔵書でスタートした成田市立図書館。当時は書架に並べられた真新しい本が、新しい図書館の誕生を象徴していました。あれから25年、歳月の経過と共に蔵書数も増え、現在は約80万冊。それぞれの本が的確な情報提供のための役割を担ってきたことと思います。今後も、時代の流れに即した情報提供ができるよう、より一層心がけていきたいと思っています。

成田市立図書館だより No. 68  
発行 成田市  
編集 成田市立図書館  
〒286-0017 千葉県成田市赤坂1-1-3  
☎0476-27-4646  
発行日 2009. 12. 1  
登録番号 成教図09-033